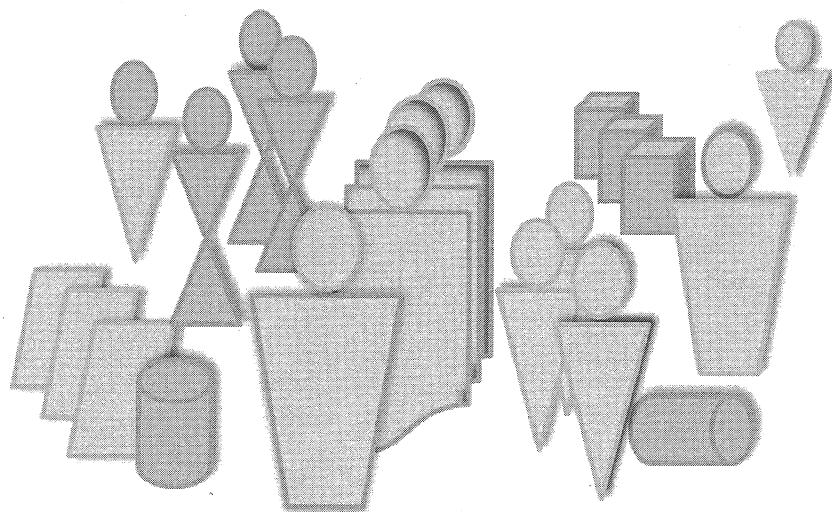


大阪市ボランティア活動振興基金福祉課題に取り組む調査研究支援事業

☎ 介護問題ホットライン

2017年9月29日～10月1日

報 告 書



2018年3月31日

大阪宅老所・グループハウス連絡会

目 次

報告書発行にあたって 1

I 介護問題ホットライン事業の実施概要

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 数字で見る事業実施の結果 | 3~4 |
| (2) ホットライン開設のための事前研修 | 5~6 |

II 相談内容とコメント・解説

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 介護経験者 | 7~12 |
| 2. 介護関連事業に従事する労働者など | 12~19 |
| 3. 介護保険制度全般と新「総合事業」に対する意見 | 19 |

記録コーナー 「相談内容とコメント・解説」では紹介できなかった事例 21

感謝のことば 23

III ボランティア参加者のアンケート

- | | |
|---------------------------|-------|
| ボランティア参加者のアンケートのまとめ | 24~26 |
| ボランティア協力者の属性等（集計1） | 27~28 |
| ボランティアの感想・意見（集計2） | 29~33 |

IV 政策提言～各自治体への要望書 34~35

報告書の編集を終えて 36

◆ 報告書発行にあたって ◆

2017年4月1日から、全ての地方自治体で「介護予防・日常生活支援総合事業」が実施されました。要支援1、2の被保険者を介護保険サービスの給付から、各地方自治体の責任で実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」に移されました。

私たちは、この「総合事業」の開始は、介護保険制度の大きな曲がり角になるのではないか、新しいサービスの開始は、高齢者や家族に混乱を招くのではないかと考えました。また、この間の介護報酬の切り下げによる小規模事業所の経営難や、介護人材の不足、介護労働者の低い賃金・労働条件という環境のもとで介護の現場はどうなっているのかにも関心を持ちました。



ホットライン開設の風景 2017年10月1日 ドーンセンター 中会議室③

介護保険制度の変更が利用者・家族にどのような影響をもたらすのか、また、介護事業者やそこで働く介護労働者の状態はどう変化し、どんな意見や要求があるのか等介護問題全般に対する人々の声を聞く事業を計画しました。これが「介護問題ホットライン事業」です。昨年春から、この事業の企画・準備を始め、大阪市社会福祉協議会の「大阪市ボランティア活動振興基金・福祉課題に取り組む調査研究事業」の助成金を申請するとともに、多くの団体・個人に呼びかけ、実行委員会へ参加していただきました。（実行委員会参加団体や賛同団体の名簿は文末参照）

数度の実行委員会での討論や事前研修会を開催し、57人のボランティアの参加と協力によって9月29・30日、10月1日（国際高齢者の日）の3日間、「介護問題ホットライン」を開設しました。

実施した結果の自己評価として、参加いただいたボランティアの方々にアンケートをお願いしました。その結果、このホットライン事業に参加した団体、事業者や個人の共通の思いは、「2014年の法改定を転機に介護保険制度は、大きく変質し、私たちが求めた安心して老後を過ごすための大きな柱である『介護の社会化』が崩壊していく」という危機感であることがわかりました。家庭に、家族に、つまり、嫁・娘・女に押しつけて来た介護の責任を社会化して、社会的な連帯の下に誰もが安心して老後を迎えることができる社会への夢は、介護保険施行17年を待たずして見果てぬ夢になってしまったのか?といった危機感です。

ホットラインの電話に寄せられた皆さんの中では、地方自治体の「介護予防・日常生活支援総合事業」に関係することは、まだ多くはありませんでした。しかし、高齢者・家族や事業者、介護労働者から深刻な事態や矛盾を抱えて困惑や怒り、失望などの声がよせられました。

マスコミでもほとんど注目されない中で、昨年5月26日には、介護保険制度関連法（「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等改正」）が成立しました。社会保障審議会介護保険部会や介護給付費分科会で審議され、4月からの新しい介護報酬などが決定されました。それだけでなく、高齢者の生活や心身の状態を考慮したとは思えない自立の強制や自己責任の強調による介護保険給付から「卒業」させる体制を各自治体と、介護関係事業者に要求するシステムの構築が企画・検討されています。

この報告書は、ホットライン事業に寄せていただいた声を収録するとともに、この事業に参加した方々の感想や意見を収録しました。今後の介護保険や障がい者の支援制度など介護・支援に関わる課題・問題の在りかを見つめ、考える資料として各方面で利用いただくことを希望します。

この事業へのご協力・参加いただいたすべての団体・個人に感謝の意を表します。ありがとうございました。

2018年3月

実行委員団体： 高齢社会をよくする女性の会・大阪

NPO 法人工フ・エー

特定非営利活動法人フェリスマンテ

福祉・介護・医療労働者組合

安心できる介護を！懇談会

特定非営利活動法人 NPO みなど

賛同団体： 働く女性の人権センターいこ☆る

一般社団法人ほっこりネット

NPO 労働と人権サポートセンター・大阪

働く女性の全国センター（ACW2）

全国一般労働組合東京南部ケアワーカー連絡会

(個人の方のお名前は、公表しないこととします)